

大村智北里大学特別栄誉教授による講演会

内閣官房ではこの度、2015年ノーベル生理学・医学賞を受賞された大村智北里大学特別栄誉教授をお招きし、感染症研究・対策に携わる方々を対象に講演会を開催いたします。

大村教授は、感染症分野で長年研究に取り組み、顧みられない熱帯病であるオンコセルカ症、リンパ系フィラリア症の薬のもととなる物質の発見、新薬の開発等、輝かしい業績を挙げられてきました。

今回、大村教授に長年のご研究の成果や貴重なご経験についてご講演いただき、多くの方々に感染症分野の研究及び対策の重要性について認識をより一層深めていただきたいと考えております。

多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。



<略歴>

- 1958年 3月 山梨大学学芸学部自然科学科卒業
- 1963年 3月 東京理科大学大学院理学研究科修士課程修了
- 1963年 4月 山梨大学文部教官助手
- 1965年 4月 (社)北里研究所技師補
- 1975年 4月 北里大学薬学部教授
- 1990年 6月 (社)北里研究所理事・所長
- 2005年 3月 米国Weselyan 大学Max Tishler 教授(～現在)
- 2007年 4月 北里大学名誉教授・北里生命科学研究所天然物創薬部門スペシャルコーディネーター(～現在)
- 2013年 3月 北里大学特別栄誉教授(～現在)

<主な栄誉(受賞等)>

ヘキスト・ルセル賞(米・微生物学会)、日本学院賞、アーネスト・ガンサー賞(米化学会)、テトラヘドロン・プライズ、文化功労者、カナダ・ガードナー国際保健賞、2015ノーベル生理学・医学賞、文化勲章他。

米国科学アカデミー、日本学士院の他、4つの国の科学アカデミー会員、英国王立化学会名誉会員等に選ばれている。

- 日時 平成28年 2月10日 (水) 15:00～15:55 (開場 14:30)
- 演題 「イベルメクチンの開発と、オンコセルカ症とリンパ系フィラリア症の撲滅プログラムについて」
- 演者 大村 智 北里大学特別栄誉教授
- 主催 内閣官房
- 共催 (調整中) 外務省、文部科学省、厚生労働省
- 会場 全国都市会館 大ホール (東京都千代田区平河町2-4-2 2階)
(会場の場所は、会場案内図をご参照ください。)
- 定員 300名程度
- 申込み 参加希望の方は、電子メールにて下記まで、①お名前、②ご所属、③ご役職、④連絡先(電話番号)を送付ください。(要参加登録)
(締切は1月29日(金)17:00です。なお、出席者が会場定員を超過する場合は、出席人数を調整させていただく場合もあります。)

<お申し込み先> 内閣官房国際感染症対策調整室

OE-mail : 右田 shuuhei.migita@cas.go.jp、河合 tatsuya.kawai@cas.go.jp

OFAX : 03 - 3501 - 3973

※お問い合わせ先 内閣官房国際感染症対策調整室

OE-mail : 右田 shuuhei.migita@cas.go.jp、河合 tatsuya.kawai@cas.go.jp

○電話 : 03 - 5253 - 2111 (内線 33121、33122)

会場案内図

■会場：全国都市会館 大ホール
(東京都千代田区平河町2-4-2 2階)

